

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		国土調査事業	担当課	建設課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	平成28年度～
	施策	調和の取れた市域の形成	種別	法定＋任意
	基本事業	施策の総合推進	市民協働	
予算科目コード	01-080601-01 補助	根拠法令・条例等	国土調査法	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 土地の公図，所有者，地番，地目などの一筆調査をし，境界の位置を確定する一筆地測量を行い，地籍図，地籍簿を作成する。その後，閲覧・認証したのち法務局に送付する。
官民境界の明確化及び課税の適正化・公平化を図るため。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
土地の最も基礎的な情報である地籍を明らかにし，その結果を記録することにより，官民境界の明確化，課税の適正化・公平化が図られる。また，災害時においても境界復元の迅速化が図られる。	
（参考）基本事業の目指す姿	
施策を総合的に推進する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
市内全域の早期完了を図るために 1 地区 3 年間を要する事業を 3 地区同時に行うため，補助金の増額，事務の効率化が必要。	研修への職員参加・・・随時 国・県への要望活動・・・随時
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
事業費（補助金）の増額，国・県への働きかけ。 担当職員（専門職）のスキルアップ。 1 地区 3 年で地籍測量が終了に向け，事務の効率化，長期継続契約等を行う。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■ 増加 □ 維持 □ 削減	次年度は，現在進行中の同地地区の他に新たに松並Ⅰ地区を着手（境界立会いの工程）により，委託費の増額。

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度の取組（評価、課題への対応）
地籍調査事業の周知を図る必要がある。	赤法花地区地籍調査事業，境界確認後，市役所及び赤法花地区公民館にて閲覧を実施した。 同地地区地籍調査への準備，令和２年度から入る松並Ⅰ地区の入札等。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
地積調査実施面積（１９条５項分含む）（k㎡）	0.00	5.43	5.83	6.10	6.50
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	地籍調査の推進により，官民境界の明確化，課税の適正化・公平化が図られる。また，災害時においても境界復元の迅速化が図られる。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
■ 拡大 □ 縮小 □ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	計画とおりに適切な地籍調査を推進する。１地区３年掛かる地籍調査を令和２年度は２地区ローテーションで行い，令和３年度からは，３地区行うことになる。			

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	2,612	10,806	5,380	20,068	21,195
	国・県支出金	1,950	8,850	4,350	7,462	8,033
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	662	1,956	1,030	12,606	13,162
正職員人工数（時間数）		510.00	1,669.00	2,272.00	0.00	0.00
正職員人件費		2,091	6,968	9,322	0	0
トータルコスト		4,703	17,774	14,702	20,068	21,195